

コアジサイ 小さな花が夜空の星みたいです

第1回 総会のご案内

この6月13日に遊林会の総会を開催します。 法人化したのが去年ですので、これが法人としての 第1回目の総会になります。内容は

- 1.2014年度 事業報告と決算
- 2.2015年度 事業計画と予算
- 3. 役員人事について

となっています。

正会員の方には出席をお願いしています。また、 賛助会員の方は総会で意見を述べてもらうことができます。また、これら会員の方でなくても、話を聞くことはできますので、興味のある方は、ぜひ森までお越し下さい。

■ 日時:6月13日(土)15:00~17:00

■ 場所:河辺いきものの森ネイチャーセンター

モリイコ!2015年度始まりました!

今年度のモリイコ!抽選会も無事に終わり、モリイコ!、モリイコ!Sの活動がスタートしました。定員50名に対して183名と、大変多くの申し込みがありました。例年増えていく申し込みに、活動の良さを認めてもらえているという実感がある反面、現状のプログラムや日程では合格枠を増やしてあげられず申し訳ない心情もあります。また、これだけのニーズがあるモリイコ!事業ですが、市の委託と基金事業のため、来年度も実施できるかは不確定というのが現状です。

そんな事情はさておき、モリイコ!1年目の3隊の活動がスタートしました。子どもたちは、期待と不安の入り交じった様子で、ドキドキが伝わってきました。

春の森は発見がたくさんあるので、子ども達が森やモリイコ!に慣れてもらうために、森たんけんの時間を多めにとりました。いきものや草花遊びを通じて、子ども達は打ち解けて楽しんでいました。2回目の活動時には森の緑もいっそう濃くなっていきものも大きくなって子ども達を出迎えてくれると思います。

2年目以上のモリイコ!Sではたんけんに出れば、カナヘビを両手につかんでくる子や、はえたてのイタドリをかじって「すっぱーい!!」という子、ササ舟の作り方を子ども達同士で教えあったりといろんな事に興味を持って全身で春の森を楽しんでいました。

ミッションではノコギリやナイフを使って竹のお皿と串を作り、これまた自分たちで作った摘みたて&作りたてのヨモギの団子を堪能しました。



←やわらかい葉っぱを □に当てて吹くと 大きな音がして 子ども達は 大はしゃぎでした!



←自分たちで作った ヨモギ団子 自然と笑顔が 広がります!

●5月の作業だより

第2土曜日(5月9日) 21人

雨上がり、曇り空での作業でした。 ①ササ機械刈り カンアオイやオ オバギボウシなど、残すべきもの は残して、ササが栄養を貯める前 に刈ってもらいました。

- ② セイタカ・クズ退治 子ども達も参加して草原が覆われる前に丁寧に手で刈りました。
- ③ 水辺の外来種退治 バイカモの エリアに侵入した外来種のカナダ モを手で丁寧に駆除しました。
- ④ お昼ご飯作り混ぜごはんや豚冷しゃぶ、野菜モリモリサラダなど、さっぱりしたものを中心に美味しく頂きました。

木ままクラブ(5月14日) 7人

第2土曜日に引き続き正面入口の看板の防腐処理、モミジの林の枯れ枝除去、2012年の2月に植栽したエリアの下草刈りと、汗ばむ陽気の中、ボリューム満点の作業日となりました。

第4水曜日(5月27日) 18人

30℃近くなる暑い日でした。まず 正面入口の看板を完成させて、その 後はササ機械刈りと、枯れ枝の伐採 を行いました。

来月以降、駐車場にある、腐って 折れてしまったサクラを切って、そ の子どもが大きくなるように手入れ をする予定です。

6月の活動日

5月に引き続き草刈りが 作業のメインです!

6/13 (±)	ササ州リ セイタカ・クズ退治 細竹退治
6/18	木ままクラブ
(木)	ササ州り
6/24	炭焼き窯の
(水)	屋根の補修

朝 9:00~(遅刻可)

第2土曜日は、9:00より 1時間ほど観察会を行います

5月観察会・6月見どころ

小雨がぱらつく中、観察会では変わり者の植物に注目。とっても地味な花を地面に半分埋もれた 状態で咲かす、カンアオイとハランを紹介しました。

実際に森で根元を掘って観察すると、「こんな 花つけとったんか!」と皆さんまじまじと観察さ

れていました。そんな場所 で咲く理由は、地表付近の いきものに花粉を運んで もらうためなのです。

土壌生物などのごく一部の いきものだけに花粉をゆだ ねるという、一風変わった 特徴に着目して紹介しました。



↑ハランの花 大きさは3~4cm



↑オカトラノオ

6月の見どころは、草原で ブラシ状の白い花をたく さんつけるオカトラノオ や、ホタルブクロ、コア ジサイ、ノアザミなどが オススメです。

やまのこ・やまの子始まる!

河辺いきものの森は滋賀県内の小学4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」事業(県森林税)の受け入れ施設の1つで、年間約900人がやってきます。

自然の話しや、森を探険したり、ナイフやノコギリを使っての竹工作というのがオススメのプログラムです。5月、6月に「やまのこ」事業が20回も入っているので、森の中はほぼ毎日、小学校4年生の子ども達の声で賑わっています。

さて、もう1つの「やまの子」は東近江市主催のやまの子キャンプです。8月のキャンプにむけ、子ども達と活動する青年リーダーの研修がスタートしました。たき火や調理などの技術はもちろん、子供達と楽しくキャンプをするための声かけや、接し方なども研修で伝えていきます。リーダーはまだ募集中ですよ!



↑竹の問題に挑戦。さわって考え中。

編集後記

森の季節は駆け足で夏へと近づいて、いきものも森の仕事もどんどん動き出しています。朝晩の気温差に体がついていってないスタッフですが、今年度も同じ顔ぶれで、法人として本格始動した遊林会の新たなミッションに向かってチャレンジしていきます! 担当 篠原・升方

【発行者】

特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会 代表理事 井田 三良 〒527-0003 滋賀県東近江市建部北町531 河辺いきものの森内

電 話: 0748-20-5211 メール: ikimono@e-omi.ne.jp